



工事の進捗状況

9/10に掘削工事再開からちょうど1か月の10/9に本体工の掘削作業が完了しました。掘削完了後、設計通り掘削が出来上がっているか確認を行い、10/18から型枠の組立作業が開始し、10/21に本工事生コン初打設を行いました。

打設作業は1週間で2~3回ペースを予定しており、打設数量が多い時には早出作業を行います。打設時は生コン車は徐行し通行いたします、住民の皆様には御通行の際ご迷惑をお掛けしますが、安全第一で作業していきますので御理解・御協力のほどよろしくお願いします。

本体掘削完了



R3. 10. 9撮影

打設がはじまりました



R3. 10. 29撮影

工事工程表

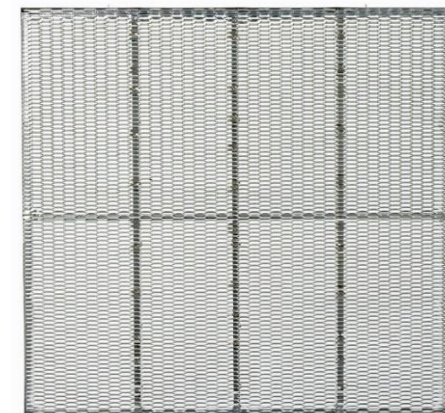
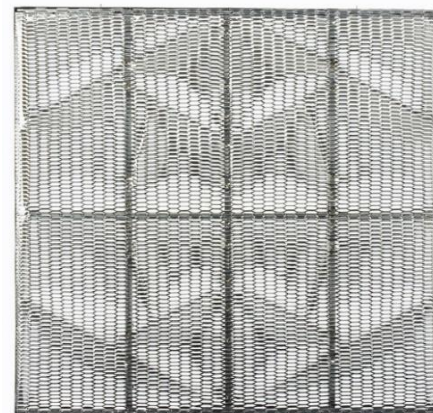
工期: 令和3年4月29日~令和4年1月14日

— 計画工程線 — 実施工程線

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
準備工・後片付け									
供採工									
砂防土工									
コンクリート堰堤工									
板設工									
管理用道路									
道路土工									
法面工									
排水構造物工									
舗装工									
工事用道路									
道路土工									
法面工									
排水構造物工									
舗装工									
板設工									
砂防施設補修工									
砂防施設工									

本体工で使用する型枠

右の写真が本体工で使用する型枠です。以前はコンパネを使用して型枠を組み足場をかけて生コンの打設作業を行っていましたが、近年残存型枠が普及してきました。残存型枠は名前のおり組立てた型枠を打設後に取り外す必要のない型枠のことをいいます。残存型枠にもいろいろあり今回現場で使用する型枠はデコメッシュという製品の型枠です。このデコメッシュは1枚当たり(1.0m×1.0m)約8kgと軽量でタイプも石模様とフラットの2種類あり現場ではこの2種類を組み合わせながら型枠の組立作業を行っています。供養物沢砂防堰堤にもこの型枠が使用されています。



● 上写真左側が石模様の型枠(残存化粧型枠)です。主に構造物の表面に見える箇所に使用されます。中央の写真は石模様の型枠に生コンクリートを打設した後の状況です。生コンが打設されると模様もはっきり見えるようになります。右側の写真はフラットタイプの型枠(残存型枠)で、土砂で最終的に見えなくなる箇所に使用します。現在現場では、底盤付近の打設を行っていますのでフラットタイプの型枠を使用して作業しています。